



VOL.162
Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部

発行日 2026年6月22日
発行所 北星学園大学後援会事務局
〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
電話 (011) 891-2731
印刷 山藤三陽印刷株式会社



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。北星学園大学後援会を代表し、心よりお祝い申し上げます。

入学式を終えて、新たな学び舎に第一歩を踏み出されました。これまでの皆さんのため努力と、それを支えてこられたご家族の温かい支援があつてこそ、この日を迎えられたこととご推察いたします。

大学生活は、高校までとは異なり、自ら考え、自ら選び取っていく学びの場で



新たな一歩を踏み出す 皆さんへ

後援会会長 上端 邦夫

す。講義やゼミナールでの専門的な学びはもちろんのこと、サークル活動やボランティア、留学、インターシップなど、多様な経験を通じて、多くの人々と出会い、価値観を広げていくことができます。そうした出会いや経験は、皆さんの人生をより豊かにし、将来の進むべき道を見出す大きな手がかりとなることでしょう。

一方で、思い通りにいかず、戸惑いや不安を感じる場面もあるかもしれません。

北星学園大学後援会のみならず、日頃より、学生の学びや課外活動、教員の教育研究活動に対し、温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本年四月、千名を超える新たな学生・院生を迎え、新年度をスタートさせました。今年度より、国際学部グローバル・イノベーション学科を開設し、新たな学びの場を拓いております。社会の変化が加速する時代にあつて、学生一人ひとりが期待と不安を胸に、大学



変化の時代に、 変わらぬ大切にしていること

学長 中村 和彦

生活の第一歩を踏み出しています。

こうした状況のもと、本学では改革を着実に進めています。今年度は、「誰かのために」であふれている」というキャッチコピーのもと、教育・研究・地域連携を見つめ直すリブランディングに取り組んでいます。

他方では、大学として「変わらず大切にしていること」とは何か、改めて問われているように感じています。

北星学園大学は開学以来、人間の尊厳を基盤に、互いの違いを認め合い、対話を通して共に学ぶことを大切にしてきました。知識やスキルの修得にとどまらず、自ら問いを立て、考え、他者と協働しながら社会と向き合う力を育むことが、本学の使命です。

聖書には、「めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい」（フィリピの信徒への手紙二章四節）と記されています。この言葉に示される隣人へのまなざしは、本学の教育の根底に流れる精神といえるでしょう。

新入生を迎えた緑豊かなキャンパスでは、今年もライラックが咲き、学生たちは静かに学びを深めています。すぐに成果が見える学びばかりではありませんが、試験の確かな糧になると信じています。

2026年度入学式・2025年度修了式・卒業式報告

4月2日（木）、札幌文化芸術劇場「hitaru（ヒタル）」にて2026年度入学式を開催いたしました。当日は天候にも恵まれ、多くの方がご出席くださいました。そのなかで、大学、大学院を含めた新入生1,023名が、緊張した面持ちで晴れの日を迎えました。日高チャプレンの聖書朗読や祈禱、本学聖歌隊による学歌や讃美歌を通し、入学の喜びを深く感じる時となったように思います。また、中村学長の式辞、古川理事長の祝辞、在学生代表による歓迎の言葉ののち、新入生代表からの誓いの言葉があり、希望を持って本学に入学した新入生の初々しい姿を見ることができました。これから始まる北星学園大学での生活が有意義な実り多い時間となるようお祈りしています。

3月13日（金）、札幌文化芸術劇場「hitaru（ヒタル）」にて2025年度修了式・卒業式を開催しました。卒業式後にはニューオータニ札幌にて卒業記念祝賀会が開催され、486名の卒業生が参加し、ビュッフェスタイルの食事を囲みながら、教職員や友人たちと卒業の喜びを分かち合うにぎやかな祝賀会となりました。



入学式の様子

後援会からのプレゼント

後援会では毎年、卒業生と新入生の皆さんに記念品を贈呈しております。2025年度卒業生には『卒業記念PHOTOBOOK』を贈りました。ゼミやクラス、サークル集合写真を中心に掲載し、卒業後も母校での思い出を振り返ることのできる1冊となっています。

また、2026年度新入生には『目覚まし時計、ジェットストリームライト（4色ボールペン&シャープ）』の2点を贈りました。いずれも本学の校章がデザインされたオリジナル製品です。大学生活の中でぜひご利用ください。

本学の校章は1991年に北星学園大学開学30周年を記念して作製されました。校章の中央の星は北星学園の象徴と教育の殿堂を示し、全体の形は「学花」であるライラックの花弁をシンボライズしたもので5つの花びらは本学の教育方針である、人間性・社会性・国際性・そして希望と発展を意味しています。



卒業記念品 フォトブック



入学記念品 ジェットストリームライト
入学記念品 目覚まし時計

新入生 からの 言葉 大学生活にむけて



文学部 心理・応用コミュニケーション学科

あじり なぎさ
安尻 風沙

これまでの私は、勉強に真剣に向き合った経験がほとんどありません。中高一貫校に通っていたため高校受験を経験せず、大学も一般受験で入学したわけではないため、勉強に多くの時間を費やす時期がありませんでした。中学・高校時代はテスト期間に努力することはありましたが、最も力を注いでいたのは部活動でした。週6日の活動に加え、長期休暇中の休みもわずかで、勉強は常に後回しになっていたように思います。

高校3年生の夏に部活動を引退してからは、時間に余裕ができ、それまでの反動もあり残りの高校生活を自由に過ごしました。しかし大学に入学し、これまでの自分を振り返ったとき、一度も本気で勉強に向き合ったことがないことに気づきました。人生の中で一度くらいは、全力で勉強に取り組む経験をしたと考えるようになりました。

そこで私は、大学生活における目標として資格取得を掲げました。また、卒業までに検定に応じた単位を修得する必要があります。これらの目標に向けて努力を重ねていきたいと考えています。

新しく始まった大学生活に大きな期待を抱いています。その期待に応えられるよう、これからは勉強に真剣に向き合い、精一杯努力していきます。



経済学部 経営情報学科

ないとう らいあ
内藤 侑亜

大学に入学して2週間が経ち、最初は緊張と不安もありましたが、徐々に大学生活に慣れました。そんな中で、大学生活で特に頑張りたいことが二つあります。

一つ目は勉学です。普段の授業はもちろんですが、特に資格取得に力を入れたいと考えています。高校生の頃から日商簿記やファイナンシャル・プランナーなどのお金に関する資格に興味があり、独学で勉強していた時期もありました。しかし、部活動やテスト勉強との両立が難しく、途中でやめてしまいました。大学では時間に余裕ができたため、もう一度、資格取得に挑戦したいと考えています。

二つ目は人との関わりを増やすことです。私はコミュニケーションがあまり得意ではなく、特に初対面の人との会話に苦手意識があります。高校で多少は改善できましたが、まだ課題が残っています。そのため、大学やアルバイトなどの場で多くの人と関わり、自然に会話ができるよう努力していきたいです。



社会福祉学部 社会福祉学科

たちもり そら
日暮 蒼

憧れていた大学生活が始まり、私は新しい出会いに囲まれて多くの価値観に触れながら刺激的で充実した日々を送っています。私は、大学に進学するにあたり国家資格を取得して医療職に携わりたいという憧れがあります。その目標を実現するうえで、この北星学園大学という環境は充分すぎるほど恵まれています。まず大学図書館には、資格勉強に必要な教材がすべて揃っているのでは図書館にたくさん通って資格取得に努めたいと思っています。また、学科の授業では資格に必要な科目が網羅されており授業を理解することが資格勉強に直接繋がることも嬉しい点です。さらに北星学園大学の卒業生で医療関係の職に就いている先輩方もいらっしゃることで、伝統ある北星が作り上げてきたネットワークが就職を考える際に心強いです。また、就職や資格だけではなく学校の設備も充実していて体育館やフィットネスルームも広く整っていてサークル活動をすごく充実させてくれると思います。また、学生数が高校の時とは比べものにならないくらい多いので、今まで出会わなかったような新しい人との出会いがあり、そういった多くの人との関わりが私自身の価値観を広げてくれます。入学して間もないこの時期に、こんなに楽しいことがたくさんあるので、きっとこれからの4年間でたくさんの人との出会いや、多くの経験が待っていると思います。自分のやりたいことを全部やって、充実した最高の大学生活を送っていききたいです。



国際学部 グローバル・イノベーション学科

ふじき ひまり
藤城 ひまり

入学式を迎える前は、100分の講義や履修登録、新しい環境での友達作りなど、不安と緊張でいっぱいでした。しかし入学式を終え授業が始まった今、フレンドリーでありながら心強い先生方、いつでも相談に乗ってねと言ってくれる先輩方、そして同じ志をもった同級生に出会うことができ、この大学で良かったなと強く思えるほど幸せで充実した日々を送れています。

また新学部である国際学部に入學し、新しい学びの場に身を置く期待とともに、一期生として自ら切り拓いていく責任も感じています。私は非常に恵まれているこの国際的な環境を当たり前だと思わずに、何事にも受け身ではなく自分から飛び込んでみたいです。沢山の場所に行って沢山のひとと出会い、色々な価値観や文化に触れるなかで、多様な視点から物事を捉えられるようになりたいです。

これから始まる北星での大学生活、後悔が残らないように、絶えず挑戦していきたいと思っています！

2026年度 大学行事予定

※日程は変更になる場合があります。

4月	1日(水)	オリエンテーション (～4月10日)
	2日(木)	入学式
		定期健康診断 (2日・8日・9日)
5月	13日(月)	履修登録開始 (～17日)
		前期授業開始
	2日(土)	学園創立記念日
6月	13日(水)	後援会第1回役員会
	30日(土)	後援会総会・就職講演会
	6日(土)	体育祭
7月	22日(月)	『後援会だより』第162号発行
	27日(土)	第1回札幌地区父母懇談会
	22日(水)	前期授業終了
	24日(金)	前期定期試験 (～8月1日)

8月	22日(土)	北見地区父母懇談会
	23日(日)	旭川地区父母懇談会
	29日(土)	釧路地区父母懇談会
9月	30日(日)	帯広地区父母懇談会
	5日(土)	函館地区父母懇談会
	6日(日)	苫小牧地区父母懇談会
10月	21日(祝)	後期授業開始
	30日(水)	前期末卒業式
	10日(土)	大学祭 (～12日)
11月	7日(土)	第2回札幌地区父母懇談会
	1日(火)	『後援会だより』第163号発行
		年内授業最終日
12月	23日(水)	クリスマス礼拝
	13日(水)	後援会第2回役員会
	19日(火)	後期授業終了
1月	20日(水)	後期定期試験 (～27日)

3月	3日(水)	卒業生名簿発表
	12日(金)	卒業礼拝 (予定)
	15日(月)	卒業式 『後援会だより』第164号発行

星学祭のお知らせ

本学にて、10月11日(日)に第65回星学祭(大学祭)を開催いたします。毎年恒例の学生による模擬店、餅まき、YOSAKOI、スペシャルゲストによるライブなど盛りだくさんの内容を予定しております。より充実した大学祭にすべく、大学祭実行委員会がイベントを企画中です。

星学祭は在学生のほか、一般参加者の方もお来場いただけます。ご家族やご友人の皆様とお誘いあわせの上、ぜひお越しください。なお詳細なスケジュールや企画内容につきましては、決まり次第、随時大学公式HPや大学祭実行委員会運営のSNS(X、Instagram)にてご案内いたしますのでご確認ください。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

5月30日（土）、北星学園大学校舎内にて後援会総会を開催いたしました。当日は天候にも恵まれ、89組129名の皆様にご参加いただきました。

昨年に引き続き、今年度も受付でお渡ししたお弁当を召し上がりながら、和やかな雰囲気の中で総会にご出席いただきました。

総会では、上端邦夫後援会会長および岩本副学長（中村学長代理）の挨拶に続き、2025年度事業報告、2025年度決算および会計監査報告、2026年度事業計画、2026年度予算、役員改選等について審議が行われ、すべての議案が原案どおり承認されました。

2025年度事業報告・決算および2026年度事業計画・予算の詳細につきましては、本号4ページに掲載しておりますのでご覧ください（役員名簿は3ページに記載しております）。

続いて、岩本副学長より教務・国際交流・図書館に関する学事報告があり、大島文学部長、勝村経済学部長、永井社会福祉学部長、岩本副学長（森越国際学部長代理）より各学部の学事報告がありました。その後、長屋学生部長より学生の課外活動、奨学金関係などの報告がありました。

総会終了後には、「就職環境の変化とサポートの在り方」と題し、小塚就職支援課長による講演を実施しました。最新の就職動向や本学の支援体制、ご家庭でのサポート方法など、今後に役立つ内容が紹介されました。就職支援に関する資料も配布しましたので、ご家庭でお子様とお話する際にご活用いただけると思います。

講演会後は、チャペル、図書館、センター棟、体育館、大学会館を開放し、参加されたご
 父母の皆様自由にキャンパスをご見学いただきました。

後援会総会は、毎年５月末の土曜日に本学で開催しております。大学教職員とご父母の皆様が一堂に会する機会はなかなかありませんので、ぜひ来年もお越しください。お待ちしております。



キャンパス自由見学の様子（体育館）



キャンパス自由見学の様子（センター棟）



総会の様子（岩本副学長挨拶）



総会の様子（事業・決算報告）



就職講演会の様子

※2026年度新任役員	清水一江	佐藤豊記	同窓生理事	※藤本志保	※後藤亜矢子	※佐々木昌代	※高橋早苗	※高見育美	※熊野由香	※原田美樹	※三浦徳美	※板垣政志	荒井麻衣	高橋昭徳	芦館静代	庄嶋正美	神林まゆみ	横内峰子	木村峰子	三浦雅典	宮田悠熙	佐藤育栄	坂野直子	太田真紀	竹中智恵	相原絵里花	飯田智美	五十嵐光江	柏山智香子	能戸優子	高橋有希恵	在学生父母理事	※桐山城太郎	武田敬子	監事	藤原成昭	中村千津子	副会長	上端邦夫	会長
-------------	------	------	-------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	-------	-------	------	-------	---------	--------	------	----	------	-------	-----	------	----

組織紹介

学長	中村和彦	総合研究センター長
副学長	岩本一郎	総合情報センター長
チャブレン	日高嘉彦	林秀彦
スミス・ミッションセンター部長	藤原里佐	伊藤新一郎
学生部長	長屋幸世	心理臨床センター長
文学部長	大島寿美子	広報委員長
文学研究科長		遠藤太郎
経済学部長		アクセシビリティ支援室長
経済学研究科長		西田充潔
総合研究センター長	勝村務	教職課程センター長
社会福祉学部部長		白鳥金吾
社会福祉学研究科長	永井順子	インスティテュショナル・リサーチ委員長
図書館長	森越京子	
国際学部部長		ロバートJ・トムソン
学 科 長		
英文学科長	江口均	事務局長
心理・応用コミュニケーション学科長		鈴木克知
後藤靖宏		企画広報課長 兼 事務局次長
経済学科長	金野雄五	越田実
経営情報学科長		大学事務部長 高橋章
		IR部門質保証課長
経済法学科長	佐藤友暁	鈴木峰子
社会福祉学科長	足立清人	総務課長
		人事課長
心理学科長	大友秀治	財務課長
グローバル・イノベーション学科長	牧田浩一	社会連携課長
		教育支援課 第一課長
ロバートJ・トムソン		桐山城太郎
		教育支援課 第二課長
セ ン ター 長		
入学試験センター長	石川 悟	幸松 紘史
		教育支援課 第三課長
キャリアデザインセンター長	松岡 是伸	阿曾 礼次郎
国際教育センター長		学生生活支援課長
	片岡 徹	佐々木 暖
学生相談センター長		加藤 幸子
		就職支援課長
学習サポートセンター長	柿原 久仁佳	研究支援課長
		遠藤 潤
		情報システム課長
		司書課長
		入試課長
	松浦 年男	岩本 学
		佐藤 剛
		馬淵 慎吾

2025年度 北星学園大学後援会 事業報告 2026年3月31日現在

1. 会議の開催状況

- (1) 2025年5月14日 (水) 第1回役員会開催
(ホテル札幌ガーデンパレス) 36名出席
(2) 2025年5月24日 (土) 総会・就職講演会開催
(北星学園大学) 86組125名出席
(3) 2026年1月14日 (水) 第2回役員会開催
(ホテル札幌ガーデンパレス) 30名出席

2. 予算執行状況

- (1) 教育・研究条件整備補助事業 (6,000,000円)
①「後援会文庫」後援会寄贈図書 2,000,000円
②教育用・事務用機器補助 4,000,000円

(2) 教育・研究活動補助事業 (0円)

- ①学術出版補助 申請1件 (申請取下げ) 0円

(3) 学術講演会・学会補助事業 (1,018,353円)

- ①全国学会 (含む北海道大会) の学内開催補助
北海道乳児療育研究学会 第39回研究大会 200,000円
比較経済体制学会 2025年度全国大会 200,000円
多国籍企業学会 東部部会5月例会 24,108円
第32回北海道地域福祉学会 全道研究大会 200,000円
第7回国際多読教育学会 200,000円
後援会大学英語教員研究協議会 (卒業生の中学・高校教員と本学教員) の活動補助 27,242円
②心こもり学科主催: 北星・心こもりラウンドテーブルに対する補助 154,503円
③心理学科主催: 北星心理学フォーラムに対する補助 12,500円

(4) 地区別父母懇談会事業 (5,610,012円)

- ①保護者のためのガイドブックを全会員分作成し送付
②地区別父母懇談会を7地区 (札幌、旭川、北見、帯広、釧路、函館、苫小牧) で開催
父母案内及び資料郵送費、地方会場費、札幌会場昼食費、教職員出張旅費等

(5) 学生各種活動補助事業 (30,228,983円)

- ①課外活動補助 (8,171,002円)
・課外活動備品補助
・学生教、弓道部、空手部に備品補助
・大学祭活動金およびデント、ブース代 2,940,000円
・全国大会出場補助 (準硬式野球部、軟式野球部、軟式庭球部、剣道部、競技ダンス部) 1,606,012円
・サークル活動活性化補助 (前年度使用分の学外施設利用料) 3,400,000円

- ・課外活動広告補助 (ハンドボール部) 10,000円
②就職活動補助 (8,940,128円)
・コンピテンシー診断年間運用費補助 2,750,000円
・キャリアデザインプログラム講座講師料、集団面接グループディスカッション講座運営費、学内企業説明会業務委託、就職システム費他 3,847,728円
・SPI試験受検料補助 342,400円
③国際交流活動補助
・マラナタ留学生奨学金、派遣留学生奨学金、受入留学生奨学金、インターナショナルキャンパス、EASCOM 6,217,993円
④奨学事業補助 (成績優秀者学業奨励金補助) 3,970,000円
⑤公務員講座・北星オープンユニバーシティ受講料補助 受講料の2割補助 4,600,860円
⑥ボランティア活動: 大学の基金に残額があるため補助なし
・学生ボランティア (震災被災地への派遣、国際ボランティア派遣等) 0円
⑦「学び」のための学生プロジェクト助成制度支援補助 300,000円
⑧教職課程における学生の体験的活動支援事業に対する補助 29,000円

(6) 広報活動事業 (2,136,212円)

- 後援会だより発行 (年3回 6/20発行、12/1発行、3/13発行) 2,136,212円

(7) その他の事業 (14,048,179円)

- ①事務運営費 (郵送料 (2回): 総会、郵送料、資料印刷、振込手数料、消耗品 1,395,000円
②大学行事助成費
・新入生への記念品 (ジェットストリームペン、USB、クリアブック) 3,089,900円
・卒業生への援助 (卒業記念祝賀会 9月と3月) 4,804,710円
・卒業生への援助 (卒業記念PHOTOBOOK) 3,628,700円
・卒業生への援助 (卒業証書ホルダー) 905,520円
・大学主催の文化事業援助
※5月と12月のコンサート補助 223,769円

(8) 事業基金への繰入 0円

3. 入会状況

- 3,680名
・在学生父母 3,675名
 (会費納入済の在学生から兄弟姉妹返戻者を除いた数)
・同窓生 5名 (三役・同窓生理事)

開催地	日程	会 場	派遣参加人数													出席人数合計
			英文	心 心	経済	経理	出 産	社会 福	福祉	心理	短大	短大	短大			
札幌	6/28(土)	北 星 学 園 大 学	53	15	16	19	9	5	6	2	3	6	2	5	88	141
旭川	8/23(土)	O M O 7 旭川	13	0	5	5	0	2	1	0	0	1	0	0	14	27
北見	8/24(土)	ホテル 北見	9	2	3	0	0	5	1	0	2	0	0	0	13	22
帯広	8/30(土)	ホテルグランデア帯広	11	6	1	2	3	2	1	0	0	1	0	0	16	27
釧路	8/31(土)	創価プリンスホテル	9	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4	13
函館	9/6(土)	グランドホテルニエーエ	10	2	4	2	0	0	1	0	1	2	0	0	12	22
苫小牧	9/7(土)	グランドホテルニエーエ	10	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	5	15
札幌	10/8(土)	北 星 学 園 大 学	60	23	23	21	14	14	9	3	1	10	2	4	124	184
合 計			175	50	53	50	26	30	20	5	7	22	4	9	278	451

2026年度 北星学園大学後援会 事業計画 (案)

1. 2026年度 会員数見込 (5/1現在)

- 在学生父母 3,690名 (休学生98名除く 兄弟姉妹減戻は未戻)
同窓生 5名
3,695名

2. 事業計画 (案)

(1) 教育・研究条件整備補助事業 (会則第4条第1号)

- ①図書充実のため「後援会文庫」
②教育用・事務用機器充実のための機器購入費

(2) 教育・研究活動補助事業 (会則第4条第2号)

- ①教員の学術出版に対する補助 ※申請6件

(3) 学術講演会・学会補助事業 (会則第4条第3号)

- ①全国学会 (含む北海道大会) の学内開催補助 ※申請4件
②北星学園大学英語教員研究協議会 (卒業生の中学・高校教員と本学教員) の活動補助
③心こもり学科主催: 北星・心こもりラウンドテーブルに対する補助
④心理学科主催: 北星心理学フォーラムに対する補助
⑤グローバル・イノベーション学科主催: DGi x マードック大学交流事業 ※新規

(4) 地区別父母懇談会事業 (会則第4条第4号)

- ①札幌地区～北星学園大学キャンパスで年2回 (6月、11月) 開催
②北海道内主要都市 (北見、旭川、釧路、帯広、函館、苫小牧) での開催
③保護者のためのガイドブックを作成し、全会員に郵送する。

(5) 学生各種活動補助事業 (会則第4条第5号)

- ①課外活動の充実のための備品購入
②大学祭に係る援助
③全国大会出場者への補助 (個人及び団体に対して旅費交通費等の一部補助)
④サークル活動活性化補助 (前年度使用分の学外施設利用料)
⑤課外活動広告補助 (大会等のプログラム広告掲出料)
⑥就職活動の充実のための補助
・コンピテンシー診断年間運用費補助
・キャリアデザインプログラム講座講師料
・集団面接・グループディスカッション講座運営費

- ・学内企業説明会業務委託費
・就職システム費
・SPI試験受検料補助
⑦国際交流活動補助
・マラナタ留学生奨学金
・派遣留学生奨学金
・受入留学生奨学金
・インターナショナルキャンパス・EASCOM
⑧奨学事業補助 (成績優秀者学業奨励金補助)
⑨公務員講座・北星オープンユニバーシティ在学生講座 受講料補助 (受講料の2割)
⑩学生ボランティア (震災被災地への派遣、国際ボランティア派遣等)
※大学の基金に残額があるため計上しない
⑪「学び」のための学生プロジェクト助成制度支援補助
⑫教職課程における学生の体験的活動支援事業補助

(6) 広報活動事業 (会則第4条第6号)

- 「後援会だより」年3回発行 (「北星学園報」を同時し、学園情報の提供を行う)

(7) その他の事業 (会則第4条第7号)

- ①事務運営費 (郵送料・印刷代・振込手数料・消耗品・会員台帳作成、役員会・総会開催)
②新入生への援助 (目覚まし時計、ジェットストリームペンの提供)
③卒業生への援助 (卒業祝賀会開催、卒業証書ホルダー、卒業記念品贈呈等)
④文化事業援助 (5月、10月の大学主催コンサート開催等の謝礼)

3. 事業基金繰り入れ

- 本年度の繰り入れは予算化をせず、執行状況により、1月の役員会を経て判断する。

4. 事業基金積立金の取り崩し

- 本年度は取り崩しを行わない。

5. 会費の減額徴収について (前年度に引き続き特別予算措置)

- 2年以上について、本年度後援会費を一人当たり5,000円減額して徴収する。

2025年度 北星学園大学後援会決算 (案)

【収入の部】					2026年3月31日現在
科目	2025年度予算	2025年度決算	増減	摘要	
会費	60,015,000	60,145,000	130,000	父母1年次費20,000*970名 2年次以上費15,000*2,705名【大学2,590、短大115】 2024年度後援会120,000円 兄弟姉妹減戻金2名、同窓生会費10,000*5名含む	
受取利息	400	60,464	60,064	北星銀行普通預金、北海道信用金庫 決算利息	
雑収入	0	0	0		
寄付金	0	0	0		
前年度繰越金	9,523,769	9,523,769	0	内訳 (現金117,561 預金9,406,218)	
計	69,539,169	69,729,233	190,064		

【支出の部】						
会則条項	科目	2025年度予算	2025年度決算	差異	執行率	摘 要
第4条第1号	教育・研究条件整備補助	2,000,000	2,000,000	0	100.0%	後援会文庫
	教育・研究活動補助	4,000,000	4,000,000	0	100.0%	教育用・事務用機器補助
	(合計)	6,000,000	6,000,000	0	100.0%	
第2号	教育・研究活動補助	998,960	0	998,960	0.0%	学術出版補助 (申請1件) →申請取り下げ
		825,400	824,186	1,212	99.6%	全国学会学内開催補助 (申請5件)
		50,000	27,242	22,758	54.5%	北星学園大学英語教員研究協議会補助
		160,000	154,503	5,497	96.6%	心こもり学科主催 (心こもりラウンドテーブル補助)
	(合計)	36,000	12,500	23,500	34.7%	心理学科主催 (北星学園大学心理学フォーラム補助) *在学生会費事務のため補助
第3号	学術講演会・学会補助	1,071,400	1,018,353	53,047	95%	
		6,900,000	5,610,012	1,289,988	81.3%	後援会地区別父母懇談会費 (札幌2回、旭川、北見、帯広、苫路、函館、室蘭等) ※25年度から地方会場を会場内開催 保護者のためのガイドブックを郵送
		1,000,000	814,990	785,010	21.5%	課外活動補助 (帰国生)
		300,000	300,000	0	100.0%	課外活動補助 (大学祭・運動)
		2,900,000	2,640,000	260,000	91.0%	課外活動補助 (大学祭・デント・ブース等)
第4号	課外活動補助 (学術大会 (総会・個人) 出席)	1,800,000	1,608,012	193,988	89.2%	
	課外活動補助 (学外施設利用補助) 前年度活動分補助	3,400,000	3,400,000	0	100.0%	
	課外活動補助 (大会プログラム広告掲出料)	100,000	10,000	90,000	10.0%	
	就職活動補助 (コンピテンシー診断年間運用費)	2,750,000	2,750,000	0	100.0%	
	就職活動補助 (キャリアデザインプログラム講座講師料、集団面接・グループディスカッション講座運営費、学内企業説明会業務委託、就職システム費)	4,251,000	3,847,728	403,272	90.5%	
	就職活動補助 (SPI試験受検料・大学2年)	480,000	349,400	137,600	71.3%	
	国際交流活動補助 (マラタ同学学生奨学金、派遣・受入留学生奨学金、インターナショナルキャンパス・EASCOM)	7,000,000	6,217,993	782,007	88.6%	
	奨学事業補助 (成績優秀者学業奨励金補助)	3,970,000	3,970,000	0	100.0%	
	公務員講座・北星オープンユニバーシティ在学生講座受講料補助	4,600,000	4,600,860	▲860	100.0%	
	ボランティア活動 (被災地派遣、国際ボランティア)	0	0	0	0.0%	
第5号	大学の基金に残額があるため計上しない	300,000	300,000	0	100.0%	
	「学び」のための学生活動高度化活動 (学習サポートセンター)	200,000	29,000	171,000	14.5%	
	教職課程における学生の体験的活動支援事業に対する補助 (教職課程センター) (25年度新規)	33,051,000	30,228,983	2,822,017	91.5%	
	後援会だより発行費 (年3回発行)	2,600,000	2,136,212	463,788	82.2%	
	部送料・資料印刷・振込手数料・消耗品・会員台帳・活動報告書作成費 (10月・12月発行、印刷16回発行) 会費	500,000	255,878	244,122	51.2%	
第6号	事務運営費	1,400,000	1,139,702	260,298	81.4%	
	役員会・総会等 ※25年度から総会を保護者へのお弁当提供内開催	1,800,000	1,395,586	504,422	73.0%	
	新入生への援助 (ジェットストリームペン、USB、クリアブック、不備なバック)	3,089,900	3,089,900	0	100.0%	
第7号	卒業生への援助 (3月卒業記念大会開催)、写真撮影・データ	5,500,000	4,677,900	822,100	85.1%	
	卒業生への援助 (前年度卒業記念大会開催) 実額により減額	130,000	126,810	3,190	97.5%	
	卒業生への援助 (卒業記念PHOTOBOOK・写真データ)	4,000,000	3,628,700	371,300	90.7%	
	卒業生への援助 (卒業証書ホルダー)	950,000	905,520	44,480	95.3%	
	文化事業援助 (チャペルコンサート: 5月と12月開催)	500,000	223,769	276,231	44.8%	
		14,169,900	12,652,598	1,517,301	89.3%	
		0	0	0	0.0%	事業基金繰入は行わない。
後援会事業費	2,847,909	0	2,847,909	0		
次年度繰越金		10,687,494	▲10,687,494		繰越 (繰金57,470 繰金10,630,024)	
計		69,539,169	69,729,233	▲190,064		

【後援会事業基金積立金】					2026年5月1日現在
事業基金	2024年度末残高		2025年度末残高		摘要
	繰入額	取崩額	繰入額	取崩額	
取崩利息	39,047	0	96,166	0	
計	57,120,194	39,047	57,206,362	0	

2026年度 北星学園大学後援会予算 (案)

【収入の部】					2026年5月1日現在
科目	2025年度予算	2025年度決算	2026年度予算	決算対比 (決算一予算)	摘要
会費	60,015,000	60,145,000	60,315,000	170,000	父母1年次費20,000*983名【大学2,600、短大115】 2年次以上費15,000*2,707【大学2,704 (休学83名除く)、短大115】 (休学4名除く) 5/1に新就、兄弟姉妹等減戻カウント未戻、同窓生会費10,000*5名含む
受取利息	400	60,464	60,000	▲464	普通預金決算利息
雑収入	0	0	0	0	
寄付金	0	0	0	0	
前年度繰越金	9,523,769	9,523,769	10,687,494	1,163,725	26予算内訳 (現金5,470 預金10,630,024)
計	69,539,169	69,729,233	71,082,494	1,333,261	

【支出の部】						
会則条項	科 目	2025年度 予算	2025年度 決算	2026年度 予算	決算対比	摘 要
第4条第1号	教育・研究条件整備補助	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	後援会文庫
	教育・研究活動補助 (合計)	4,000,000	4,000,000	4,000,000	0	教育用・事務用機器補助
		6,000,000	6,000,000	6,000,000	0	
第2号	教育・研究活動補助	989,960	0	5,188,000	5,188,000	学術出版補助 申請6件
		825,400	824,186	800,000	▲24,186	全国学会学内開催補助 申請4件
		50,000	27,242	50,000	22,758	北星学園大学英語教員研究協議会
		160,000	154,503	160,000	5,497	心こもり学科主催 (心こもりラウンドテーブル補助) 心学生会費事務費のため補助
第3号	学術講演会・学会補助	36,000	12,500	36,000	23,500	心学生科主催 (北星学園大学心理学フォーラム補助) 心学生会費事務費のため補助
		0	0	100,000	100,000	グローバル・イノベーション学部主催 (DIGiマードック大学交流展実施補助) 心学生会費事務費のため補助
		1,071,400	1,018,353	1,146,000	127,647	
第4号	地区別父母懇談会費	6,900,000	5,610,012	6,500,000	889,988	後援会地区別父母懇談会費 (札幌2回、旭川、北見、帯広、釧路、函館、苫小牧)、保護者のためのガイドブック郵送、昨年度より地方会場を会場内開催
		1,000,000	214,990	1,000,000	785,010	課外活動補助 (帰国生)
		300,000	300,000	300,000	0	課外活動補助 (大学祭 振替)
		2,900,000	2,640,000	2,900,000	260,000	課外活動補助 (大学祭 デント・ブース等)
		1,800,000	1,608,012	1,800,000	193,988	課外活動補助 (全国大会 (総会・個人) 出席)
		3,400,000	3,400,000	3,400,000	0	課外活動補助 (学外施設利用補助) 前年度活動分補助
		100,000	10,000	100,000	90,000	課外活動補助 (大会プログラム広告掲出料)
		2,750,000	2,750,000	2,750,000	0	就職活動補助 (コンピテンシー診断年間運用費)
		4,251,000	3,847,728	4,251,000	403,272	就職活動補助 (キャリアデザインプログラム講座講師料、集団面接・グループディスカッション講座運営費、学内企業説明会業務委託、就職システム費)
		480,000	349,400	480,000	137,600	課外活動補助 (SPI試験受検料・大学2年)
		7,000,000	6,217,993	7,000,000	782,007	国際交流活動補助 (マラナタ留学生奨学金、派遣・受入留学生奨学金、海外交流活動補助 (学内企業説明会業務委託、就職システム費)
		3,970,000	3,970,000	3,970,000	0	国際交流活動補助 (派遣留学生生活実習奨学金)
第5号	学生各種活動補助	4,800,000	4,600,860	4,700,000	99,140	公費減額 北星オープンユニバーシティ在学生奨学金奨励料補助 実用により前年度
		0	0	0	0	学内活動補助 (被災地義援金、医療ボランティア)
		300,000	300,000	300,000	0	学内活動補助 (地域貢献のため、計上)
		200,000	29,000	200,000	171,000	「学び」のための学生活動支援事業 (学習サポートセンター) 就職活動における学生の体験的活動支援事業に対する補助 (就職支援活動)
	広報活動費	2,600,000	1,286,212	2,300,000	613,788	広報部より発行 (年3回発行) 実績により前年度
	薬 費 運 送 費	500,000	255,878	300,000	44,122	委託料・費用負担 振込手数料・消耗品・会員会費、活動報告製作 経理用・実用により前年度
		1,400,000	1,139,702	1,400,000	260,298	役員会・実用により前年度
		2,000,000	1,395,585	1,700,000	304,420	
		3,068,900	3,068,900	3,356,000	266,100	新生入生の援助 (フェスティブム会場・買見まし時幹) 実績により前年度、不備をバック取りのみ
		5,500,000	4,677,900	5,000,000	522,100	卒業生への援助 (卒業生就業見学会補助) 実績により前年度
		130,000	126,000	130,000	4,000	卒業生への援助 (卒業生就業見学会補助) 実績により前年度
	大学行事助成金		500,000	368,770	400,000	37,230
		950,000	805,520	950,000	44,480	卒業生への援助 (卒業生就業見学会補助) 実績により前年度
		500,000	223,769	500,000	276,231	文化芸術支援 (サベルコンコンサート: 6月と10月開催)
		14,099,900	12,652,593	14,136,000	1,483,407	
後援会活動費	0	0	0	0	0	後援会執行状況をみて判断する (24年度以降なし)
次年度預け金	2,847,900	10,687,494	0	941,494	941,494	
計	69,539,169	69,729,233	71,062,494	1,332,261		

「誰かのために」であふれている。 北星学園大学は、このメッセージとともに2030年までの道のりを歩んでいきます。

北星学園大学では、2023年に社会福祉学科の設置、心理学科への名称変更による社会福祉学部
の改組を行いました。この改組を起点として、大学のリブランディングを進めています。2026年
度には国際学部グローバル・イノベーション学科を設置し、2027年度には学校法人北星学園が創
立140周年を迎えるとともに、情報科学部情報科学科の新設を予定しています。また、既存の学部
学科においても、学びの質を高める教育改革や学修環境の整備を段階的に展開していく予定です。
これら一連の2030年に向けたリブランディングの取組みを、北星学園大学の目指す姿として、社
会にわかりやすく伝えるために『「誰かのために」であふれている。』というキャッチコピーを策定
しました。このキャッチコピーは、社会や地域に貢献することをミッションに掲げる本学がこれま
で大切にしてきた理念とも重なり、他の大学では表現できない北星学園大学らしい人間性をうまく
表したものです。この『「誰かのために」であふれている。』を、教育や研究などあらゆる場でか
ちにしていくうえで、とりわけ2つの新学部の設置は、本学にとって新たな可能性と発展をもたら
す計画になると考えています。

（国際学部グローバル・イノベーション学科）

2026年度に新設された本学科では、世界と向き合いながら、複雑化する国際社会の課題解決と
価値創造を担うグローバル人材を養成することを目的としています。学科の特長として「多様な実
践的アプローチ」を掲げており、今年度は124名の入学生を迎え入れることができました。

カリキュラムには大きく4つの特長があります。1つ目は「イノベーションの学び」です。分野
を横断した学際的なカリキュラムを用意し、国際社会の複雑化する課題へ対応する力を育みます。
2つ目は「プロジェクト型の学び」です。アクティブラーニング型の授業を多数展開し、PBL（課題
解決型授業）を通して、知識と理論を応用しながら課題解決に必要な研究力、企画実行力を養いま
す。3つ目は「社会と連携した実践教育」です。企業・地域・海外と連携したインターンシップを
用意しており、多様な人々との実践的な協働を通して、実社会で通用する力を身につけます。4つ
目は「現場で活きる語学力」です。専門分野の学びと連携し、個々のレベルに応じた実践的な英語
教育を展開します。さらに英語以外の外国語も選択必修として履修し、国際社会で活躍できる語学
力を習得します。

以上のとおり、本学科では、国際社会に積極的にに関わり、未来を切り拓く意欲のある学生に向け
て、多様な学びの機会を提供していきます。

（情報科学部情報科学科）

2027年度に新設予定の本学科では、情報技術で持続可能な社会の実現と発展に貢献する「社会
実装力」を身につけたデジタル人材を養成することを目的としています。

学科の特長として、次の3つのポイントがあります。1つ目は「情報科学の専門性を深める3つ
の系」です。社会をより良くする先端情報技術を身につけるため、カリキュラムのなかに専門性を
深める「社会・情報ネットワーク系」「人間・情報システム系」「データ活用・AI応用系」の3つの
系を設置しています。情報科学に関する、確かな知識と高度な技術を学びます。2つ目は「社会実
装プロジェクト」です。地域（自治体・病院等）や企業が抱える実際の課題に、情報の先端技術を
どのように活かすのかを考え、実践していくプロジェクトを2年次から段階的に展開していきま
す。各自の専門性を活かし、社会課題の解決に挑みます。3つ目は「社会実装の学びを支える、多
様な教員と研究」です。4年次には学びの集大成となる卒業研究に取り組みます。学問的な理論へ
の深い理解を得ながら、社会実装に直結する研究を、多様なバックグラウンドをもつ教員陣ととも
につくりあげていきます。

本学初の理系学部となる情報科学部情報科学科の誕生により、文理融合の学びが可能となり、多
様な学問分野を網羅する真の総合大学へと発展することを目指します。

※文中の情報科学部情報科学科に関する内容は、学部学科名も含めて予定であり、計画変更の可能性があ
ります。



北星学園大学ブランドサイト
「「誰かのために」であふれている。」
アクセスはコチラから



全国大会報告

軟式野球部

文学部 英文学科 宗片 日々暖

2025年8月17日から22日にかけて長野県で開催された「第5回 全日本大学軟式野球選抜大会 SUMMER CUP 2025 in Nagano」に出場しまし
た。本大会は全国の強豪校が集う大舞台であり、北星学園大学軟式野球部として史上初の全国大会出場という歴史的な一歩となりました。

全国大会では一回戦を勝利し、二回戦へ進出しました。惜しくも敗戦となりましたが、全国ベスト16という結果を残すことができました。全国の
舞台で北星の名を背負い、全力で戦えたことは、言葉にできないほど大きな経験です。

2024年度の予選大会では準優勝に終わり、あと一歩で全国を逃した悔しさを胸に、この一
年間、チーム全員が同じ目標に向かって努力を
重ねてきました。普段から仲の良いチームだか
らこそ、苦しい場面でも声を掛け合い、最後ま
で諦めずに戦い抜くことができました。

この全国大会出場はゴールではなく、新たな
スタートです。支えてくださった皆様への感謝
を胸に、これからも北星らしい野球で、さらな
る高みを目指して挑戦し続けます。



守備を終えた選手を出迎える選手たちの様子



全国決定の瞬間

◆ご相談ください◆

～学費納入について～

授業料等学費につきましては、毎年、期限までの納入をお願いしているところですが、学費に関する諸制度についてお知らせいたします。詳細は北星学園大学ホームページをご覧ください。



■各種減免制度

「本学独自の減免制度」

○兄弟姉妹等同時在学者減免

兄弟・姉妹等同時在学者2名以上が1年を通じて在学されている場合、そのうちお一人以外の方の「教育充実費」及び「後援会費」を全額免除いたします。願ひ出にあたっては、新規の申請の場合は戸籍謄本の添付をお願いしております。継続時には添付は不要です。財務課までお申し出ください。

○障害者減免

学部、大学院又は短期大学部の学生で身体障害者手帳・精神障害者手帳等をお持ちの場合は「教育充実費」の2分の1を免除いたします。財務課までお申し出ください。

「国の減免制度」

○高等教育の修学支援制度

(給付奨学金・授業料減免)

日本学生支援機構の給付奨学金に採用された場合、大学で所定の手続きをすることにより授業料等の減免も併せて受けることができます。給付奨学金の申し込みについては、学生生活支援課までお問い合わせください。

■学費等延納制度

万が一、家計の事情等で期限までの納入が困難な場合は、学費等延納制度により納入期限を延長することが可能です。財務課までご相談ください。

2026年度

地区別父母懇談会のお知らせ

今年度の地区別父母懇談会は右下の表にある日程で開催いたします。学科教員との個別面談ではお子様の前年度までの修得単位数とその評価がわかる「成績通知票」を個別にご用意し、面談いたします。また、ご父母向けの就職個別面談も実施いたします。

地区別父母懇談会は北星学園大学後援会の事業の一環で、皆様からの会費により運営しております。毎年、参加された皆様からは大変好評です。今年も多くの皆様のご参加をお待ちしております。

※8月22日(土)からの地区別父母懇談会の申込締切日の7/3(金)が近づいております。参加ご希望の方はお忘れなくお申し込み願います。なお、6月27日(土)札幌地区父母懇談会の申し込みは終了いたしました。

右記QRコードから申込フォームにアクセスしてください。



【申込フォーム】

【第1回・第2回札幌地区(6月27日・11月7日)】

12:00～12:20 受付
12:00～12:50 大学生協食堂にて昼食
13:00～15:00 ①個別面談

1家庭10～15分程度の個別面談です。学科教員が出席状況や成績状況を個別資料に基づき説明いたします。

②就職相談 就職支援課員が個別に就職相談に応じます。

③各種相談 修学・学費・奨学金について担当職員が対応します。

★キャンパスツアー(6月27日のみ) 本学職員がキャンパス内をご案内いたします。

★キャンパス自由見学(11月7日のみ) チャペル、図書館、センター棟、体育館、大学会館を開放しています。キャンパスマップを参考にキャンパス内を自由にご覧いただけます。

【北見・旭川・釧路・帯広・函館・苫小牧地区(8～9月)】

12:00～12:20 受付
12:20～ 開会・挨拶・昼食(ホテル円卓にて)
13:00～ ①個別面談

1家庭10～15分程度の個別面談です。学科教員が出席状況や成績状況を個別資料に基づき説明いたします。

②就職相談 就職支援課員が個別に就職相談に応じます。



個別面談の様子(2025年8月帯広)



キャンパスツアーの様子(2025年6月札幌)



就職相談の様子(2025年8月旭川)

日にち	開催地区	会場
6月27日(土)	第1回札幌地区父母懇談会	北星学園大学 校舎
8月22日(土)	北見地区父母懇談会	ホテル黒部 北見市北7条西1丁目
8月23日(日)	旭川地区父母懇談会	OMO7旭川 旭川市6条通9丁目
8月29日(土)	釧路地区父母懇談会	釧路プリンスホテル 釧路市幸町7丁目1番地
8月30日(日)	帯広地区父母懇談会	ホテルグランテラス帯広 帯広市西1条南11-2
9月5日(土)	函館地区父母懇談会	プレミアムホテル -CABIN PRESIDENT-函館 函館市若松町14番10号
9月6日(日)	苫小牧地区父母懇談会	グランドホテルニュー王子 苫小牧市表町4丁目3-1
11月7日(土)	第2回札幌地区父母懇談会	北星学園大学 校舎

※お申込みされた方には、開催日が近づきましたらリマインドメールをお送りいたします。

※学生本人を同席させての三者面談は父母懇談会の趣旨から行っておりません。

※個別面談順は準備の都合上、当日お知らせいたします。なお面談の担当がゼミの担当教員とは限りませんのでご容赦ください。

✿ 後援会 とは ? ✿

北星学園大学後援会は、在学生のご父母、卒業生のご父母及び同窓生を会員として構成されており、今年で設立42年目になります。

本会の目的は、北星学園大学・短期大学部における教育、研究活動の充実と発展に寄与することであり、「北星学園大学・短期大学部のサポーター」として活動を行っています。一例としては、図書館への図書等の寄贈、教員への学術出版補助、全国学会や学部・学科等で主催する事業への補助、学生各種活動補助などです。学生各種活動補助については、全国大会に出場する学生への補助や学生の就職活動支援、就職セミナー開催、大学祭への援助、奨学金補助、サークル活動で使う備品等の購入などを行っています。

また、ご父母向けに毎年地区別父母懇談会を道内7会場(札幌・函館・苫小牧・北見・旭川・帯広・釧路)で開催し、本学の教育方針やカリキュラムについての説明、学生の修学状況についての個別面談を行い、ご父母の皆様にも本学について知っていただく良い機会となっています。

なお、『後援会だより』は年3回発行し、会員の皆様にも大学の情報をお届けしております。後援会に関することは大学ホームページからもご覧いただけます。



【後援会HP】

北星学園大学教育振興寄付金ご芳名

募金のご協力に深く感謝申し上げます。

2026年2月1日から2026年4月30日まで(敬称略・順不同)

松橋 庸子 旧永田ゼミ有志一同 加藤 力也
古川 敬康 匿名希望1名

※ご芳名の掲載は、本学へ入金された日を集計しております。(インターネットからクレジット決済でご寄付をされた場合、通常1～2か月程度を要します。4月にクレジット決済でご寄付いただいた方については、次号での掲載となります)

※寄付者様が法人の場合、寄付金の全額を損金として算入することができます。認められている受取指図書としてご寄付いただくことができます。お申込みをご検討の場合は、募金事務局(donation@hokusei.ac.jp)までご連絡ください。

あ と が き

ライラックの香りが広がり、初夏の華やきを感じる季節となりました。キャンパス内は学生たちが元気に行き交う姿であふれています。さて、6月27日(土)から地区別父母懇談会が始まります。多くの方のご出席を心よりお待ちしております。 川田・石山